

淡路島のコガネムシ*

高橋 壽郎¹

ここに淡路島に産するコガネムシをまとめて見た。淡路島には何種類のコガネムシがいるとか地元の研究による調査、研究結果の断片的報告など結構多くあるが全体をとりまとめたものはどうもなかったように思われる。此処に従来の見得る記録と筆者自身の何回かの調査採集記録を合わせ個々の種の産出状況をふくめ淡路島でのコガネムシの分布、産出状況をまとめ報告したいと思う。浅学未熟の筆者のまとめであるから多くの誤りとか脱落があるかと思われる。それらについて御叱正、御教示頂ければ幸いである。

尚ここに云うコガネムシとはコガネムシ主科 (Superfamily Scarabaeoidea) の意味でクワガタムシ、センチコガネ科のものもふくんだものである。

Superfamily Scarabaeoidea コガネムシ主科

Family Lucanidae クワガタムシ科

1. *Figulus binodulus* Waterhouse, 1873 チビクワガタ

兵庫県下には広く分布しているが淡路島では三熊山の記録以外知られていない調査が不十分ではないかと考えられる。

産地：洲本市三熊山〔久松, 1973, 登日, 1974〕**

2. *Figulus punctatus* Waterhouse, 1873 マメクワガタ

沼島で記録されている。沼島に生棲しているのか漂流物に付着して流れ着いたものなのかよくわからない、近い所の家島でも記録があるので〔楠井, 1992〕漂流物について来たものと考えられるが実際にこれらの島に生棲しているとなると保護策を考えないといけない。

産地：三原郡南淡町沼島〔幸形, 1986, 田中, 1987, 水沼, 永井, 1994〕

3. *Lucanus maculifemoratus* Motschulsky, 1961 ミヤマクワガタ

意外と記録が少ない。最近神戸市近郊でも個体数が減少している。淡路島でも個体数の少ない種なのかもしれない。

産地：洲本市先山〔堀田, 1973, 1976〕

4. *Prosopocoilus inclinatus* (Motschulsky, 1857) ノコギリクワガタ

本種もあまり淡路島では普通に見られる種ではないようである。ただミヤマクワガタより個体数は多いのではないかと考える。

産地：津名郡志筑〔堀田, 1973〕, 常隆寺山〔堀田, 1992〕, 洲本市先山〔久松, 1973, 堀田, 1973〕, 安乎町〔堀田, 1973, 1976〕

5. *Aegus laevicollis* E.Saunders, 1854 ネプトクワガタ

本種は淡路島ではそれほど個体数が多くないように思われる。沼島での記録がある。この島には生棲しているようである。

産地：三原郡沼島〔楠井, 1992〕, 洲本市先山〔堀田, 1959, 1973, 1976〕

6. *Dorcus titanus pilifer* (Snellen von Vollenhoven, 1861) ヒラタクワガタ

南方系のクワガタムシであり瀬戸内海にある島々の内最も記録が多く見られるクワガタムシがこのヒラタクワガタである。淡路島でもわりと個体数は他のクワガタ

1: 〒652 神戸市兵庫区米室町 1丁目 44

*: 兵庫県甲虫相資料・321

** 〔 〕は文献からの引用。文献名は筆者著、兵庫県産甲虫類に関する文献目録, 1981. 同, 追加篇 I, 1984. 同, 追加篇 II, 1995を参照。()は筆者採集。標本は県立人と自然の博物館にて保管。

ムシに比して多いようである。

産地：津名郡志筑〔堀田, 1959, 1973, 1976〕. 洲本市安乎町〔堀田, 1973〕, 三原郡沼島〔楠井, 1992〕

7. *Dorcus rectus* (Motschulsky, 1857) コクワガタ

淡路島では本種が一番個体数が多いのではないだろうか、記録もわりとある。

産地：津名郡常隆寺山〔堀田, 1992〕. 洲本市先山〔久松, 1973, 堀田, 1973, 1976〕, 安乎町〔堀田, 1973〕. 三原郡沼島〔楠井, 1992〕

8. *Dorcus striatipennis* (Motschulsky, 1861) スジクワガタ

本種は個体数がそれほど多くない。

産地：洲本市先山〔堀田, 1959, 1973, 1976〕, 安乎町〔堀田, 1973〕

Family Geotrupidae センチコガネ科

1. *Geotrupus (Eogeotrupes) laevistriatus* Motschulsky, 1857 センチコガネ

広く普通に産したが牛馬の減少により本種との出会いも次第に少なくなってくる傾向にある。

産地：津名郡岩屋 (3♂, 26-IV-1959). 洲本市先山 (1♂, 17-VI-1951, H.Hotta leg.)〔堀田, 1959, 1976〕 曲田山 (5exs., 19-IX-1976, H.Hotta leg.)〔堀田, 1978〕, 中川原町〔堀田, 1982〕, 三熊山〔久松, 1973〕. 三原郡諭鶴羽山〔久松, 1973〕

Family Scarabaeidae コガネムシ科

1. *Panelus parvulus* (Waterhouse, 1874) マメダルマコガネ

落葉下に割合と広く産するようである。トラップにもやって来る。

産地：三原郡諭鶴羽山〔久松, 1973, 塚本, 1987〕.

2. *Capris (s. str.) acutidens* Motschulsky, 1860 ゴホンダイコクコガネ

かつては割合と出会うことが出来たが最近では産地が局地的になってきたように思われる。

産地：津名郡岩屋 (1♂, 1♀, 24-V-1942). 洲本市中津川, 相川, 由良日の出〔登日, 1983., 塚本, 1987〕 三原郡諭鶴羽山〔堀田, 1974〕.

3. *Caccobius jessoensis* Harold, 1867 マエカドエンマコガネ

個体数は少ない種である。

産地：三原郡諭鶴羽山〔堀田, 1974〕

4. *Onthophagus (Strandius) lenzii* Harold, 1874 カドマルエンマコガネ

普通にいる種である。

産地：津名郡岩屋 (1♂, 26-IV-1959), 津名町大町〔堀田, 1974〕. 洲本市〔堀田, 1959〕, 安乎町〔堀田, 1974〕, 山武牧場〔堀田, 1979., 塚本, 1987〕.

5. *Onthophagus (Gibbonthophagus) atripennis* Waterhouse, 1875 コブマルエンマコガネ

普通にいる種。

産地：津名郡岩屋 (1♂, 26-IV-1959)〔塚本, 1987〕. 三原郡沼島〔楠井, 1992〕. 洲本市三熊山〔久松, 1973, Hirochi etc. 1977〕, 曲田山 (2exs., 18-VII-1975)

6. *Onthophagus (Gibbonthophagus) viduus* Harold, 1874 マルエンマコガネ

あまり個体数は多くない。

産地：津名郡岩屋 (1♂, 1♀, 26-IV-1959)〔塚本, 1987〕

7. *Onthophagus (Phameorphus) ater* Waterhouse, 1875 クロマルエンマコガネ

普通にいる種。

産地：津名郡岩屋 (1♂, 26-IV-1959)〔塚本, 1987〕

8. *Aphodius (Aganocrossus) urostigema* Harold, 1862 フチケマグソコガネ
淡路島では記録がほとんどない。産出状況が良くわからない。本土側には普通に見られる。
産地：洲本市山武牧場〔堀田, 1979〕
9. *Aphodius (s. str.) elegans* Allibert, 1847 オオフタホシマグソコガネ
筆者が採集した頃はわりと個体数多かったが最近はどうなっているか。本土側でも大変少なくなっているのだから淡路島でも少なくなっているのではないだろうか。
産地：津名郡岩屋 (2♂, 24-V-1942, 1♂, 29-IV-1961)〔塚本, 1987〕
10. *Aphodius (Colobapterus) haroldianus* Balthasar, 1932 オオマグソコガネ
筆者が採集した頃は多くの個体が見られたが現在その状況がわからない。
産地：津名郡岩屋 (2♂1♀, 10-IV-1943, 3♂, 5♀, 26-IV-1959, 1♂, 1♀, 29-IV-1961), 開鏡 (1♂, 24-V-1942),〔塚本, 1987〕
11. *Aphodius (Phaeaphodius) rectus* (Motschulsky, 1866) マグソコガネ
本種も筆者が採集していた頃は多くの個体に出会うことが出来たが現在同じ状況なのかわからない。
産地：津名郡岩屋 (4exs.,30-IV-1943,2exs.,29-IV-1959,4exs.,29-IV-1961)〔塚本, 1987〕
12. *Aphodius (Teuchestes) brachysomus* Solsky, 1874 セマルオオマグソコガネ
岩屋から開鏡寺へゆく道路ぞいにあった牛糞から採集した(この種と同定してくださったのは和田義人博士)
産地：津名郡岩屋 (1♂, 30-IV-1943)〔塚本, 1987〕
13. *Ectinohoplia obducta* (Motschulsky, 1857) ヒメアシナガコガネ
普通に得られる。
産地：津名郡開鏡 (6exs.,24-V-1942), 津名町大町〔堀田, 1974〕
14. *Maladera (s. str.) castanea* (Arrow, 1913) アカビロウドコガネ
普通に得られる種である。
産地：津名郡岩屋 (1♂, 29-IV-1961), 洲本市山武牧場〔堀田, 1979〕
15. *Maladera (s. str.) orientalis* (Motschulsky, 1857) ヒメビロウドコガネ
普通にいると思うのだが意外と記録は少ない。
産地：洲本市先山〔堀田, 1976〕
16. *Maladera (s. str.) secreta* (Brenske, 1897) マルガタビロウドコガネ
この種も普通に思うのであるが記録は少ない。
産地：津名町大町〔堀田, 1974〕, 岩屋 (1♂, 29-IV-1961)
17. *Nipponoserica similis* (Lewis, 1895) カバイロビロウドコガネ
淡路島に産するのはハラゲビロウドコガネ *Nipponoserica pubiventris* Nomura, 1976 ではなくこの種であると考えている(♂交尾器による)。
産地：洲本市安乎町〔堀田, 1979〕, 津名町大町 (1♂, 20-V-1966, K.Tobi leg.)
18. *Sericania fulgida lineata* Sawada, 1939 スジチャイロコガネ
あまり個体数が多くないようである。
産地：洲本市安乎町〔堀田, 1974〕
19. *Sericania mimica* Lewis, 1895 ナエドコチャイロコガネ
本種も個体数は少ない。
産地：津名郡岩屋 (1♀, 25-IV-1959)
20. *Apogonia amida* Lewis, 1896 ヒメカンショコガネ

本種も個体数多くない。

産地：津名郡津名町大町〔堀田，1979〕

21. *Miridibia castanea* (Waterhouse, 1875) クリイロコガネ
産地：洲本市安乎町〔堀田，1974〕
22. *Holotrichia*(s. str.) *convexapyga* Moser, 1912 マルオクロコガネ
産地：三原郡慶野松原 (1♀, 26-V-1983), 津名郡開鏡 (1♀, 24-V-1942)
23. *Holotrichia*(s. str.) *kiotoensis* Brenske, 1894 クロコガネ
やや普通に見られる。
産地：津名郡開鏡 (1♂, 24-V-1942), 津名町大町〔堀田，1974〕。洲本市安乎町〔堀田，1974〕, 先山〔堀田，1976〕。
24. *Heptophylla picea* Motschulsky, 1857 ナガチャコガネ
普通種である。
産地：三原郡論鶴羽山〔堀田，1974〕, 南淡町煙島〔登日，1982〕。洲本市先山〔久松，1974。堀田，1976〕。
25. *Melolontha frater* Arrow, 1913 オオコフキコガネ
産地：洲本市安乎町〔堀田，1974〕, 先山〔久松，1974〕。
26. *Melolontha japonica* Burmeister, 1855 コフキコガネ
産地：津名郡津名町大町〔堀田，1974〕, 津名町志筑〔藤富，1995〕。洲本市安乎町, 先山〔堀田，1975〕, 中川原町厚浜〔藤富，1995〕。
27. *Polyphylla* (*Granida*) *albolineata* (Motschulsky, 1861) シロスジコガネ
現在兵庫県下で確実に産する地としては吹上浜が知られているだけであろう。かつて県の瀬戸内海に面した砂浜海岸 (たとえば香櫨園浜など) には産した。現在ほとんど見ることが出来なくなっている。日本海岸の海岸線ぞいには現在でも産すると思われるが記録は知られていない。
産地：三原郡南淡町吹上浜〔奥谷，1975〕。
28. *Adoretus*(*Lepadoretus*) *tenuimaculatus* Waterhouse, 1875 コイチャコガネ
普通種である。
産地：津名郡津名町大町〔堀田，1974〕。三原郡三原町八木養宜〔藤富，1995〕。洲本市安乎町〔堀田，1974〕, 先山〔堀田，1979〕。
29. *Popillia japonica* Newmann, 1844 マメコガネ
本種も普通種である。
産地：津名郡津名町佐野, 大野〔堀田，1974〕。
30. *Phyllopertha diversa* Waterhouse, 1875 ウスチャコガネ
産地：津名郡常隆寺山 (1♂, 20-IV-1974), 津名町大町〔堀田，1974〕。三原郡南淡町大日ダム〔堀田，1974〕。
31. *Phyllopertha irregularis* Waterhouse, 1875 キスジコガネ
5月頃普通に見られる種である。
産地：洲本市先山〔堀田，1979〕。
32. *Blitopertha conspurcata* (Harold, 1878) カタモンコガネ
普通種。
産地：津名郡開鏡 (2♂, 5♀, 24-V-1942)。三原郡慶野松原 (1ex., 26-V-1983)。
33. *Blitopertha orientalis* (Waterhouse, 1875) セマダラコガネ
普通種である。
産地：津名郡生野〔堀田，1959〕。洲本市安乎町〔堀田，1974〕, 先山〔堀田，

- 1974, 1976, 久松, 1974], 三熊山 [H.Hirochi,1977].
34. *Mimela flavilabris* (Waterhouse, 1875) ヒメスジコガネ
産地: 洲本市安乎町, 先山 [堀田, 1974, 1976].
35. *Mimela splendens* (Gyllenhal, 1817) コガネムシ
普通種.
産地: 津名郡津名町大町 [堀田, 1942], 洲本市桑間 [堀田, 1974]. 三原郡三原町八木養宜 [藤富, 1995].
36. *Anomala albopilosa* (Hope, 1839) アオドウガネ
普通に産する. 本種は海岸線に近いところに多く見られる.
産地: 津名郡岩屋 (3♂, 2♀, 4-VII-1957). 洲本市安乎町 [堀田, 1959, 1974], 先山 [堀田, 1976], 山武牧場 [堀田, 1979]. 三原郡三原町八木養宜 [藤富, 1995].
37. *Anomala costata* (Hope, 1839) オオスジコガネ
産地: 洲本市安乎町 [堀田, 1974], 先山 [久松, 1974, 堀田, 1976].
38. *Anomala cuprea* (Hope, 1839) ドウガネブイブイ
普通種.
産地: 津名郡岩屋 (2♂, 2♀, 4-VII-1957). 洲本市 [植村, 1938], 安乎町 [堀田, 1959], 三熊山 [久松, 1974], 先山 [堀田, 1976]. 三原郡三原町八木養宜 [藤富, 1995].
39. *Anomala daimiana* Harold, 1877 サクラコガネ
産地: 津名郡津名町大町 [堀田, 1974]. 洲本市安乎町 [堀田, 1959, 1974]. 三原郡三原町八木養宜 [藤富, 1995].
40. *Anomala japonica* Arrow, 1913 ヤマトアオドウガネ
産地: 津名郡東浦町浦 [田中, 1987].
41. *Anomala rufocuprea* Motschulsky, 1860 ヒメコガネ
普通種である.
産地: 津名郡岩屋 (2♀, 4-VIII-1957), 大町 [堀田, 1974]. 洲本市安乎町 [堀田, 1974].
42. *Anomala testaceipes* Motschulsky, 1860 スジコガネ
普通種.
産地: 洲本市安乎町, 先山 [堀田, 1959, 1974, 1976]. 三原郡論鶴羽山 [久松, 1974], 三原町八木養宜 [藤富, 1995].
43. *Allomyrina dichotoma septentrionalis* (Kōno, 1931) カブトムシ
産地: 洲本市安乎町 [堀田, 1959, 1974], 先山 [堀田, 1975], 三熊山 [久松, 1974], 中川原町 [堀田, 1979].
44. *Eophileurus chinensis* (Faldermann, 1835) コカブトムシ
個体数は少ない.
産地: 洲本市安乎町 [堀田, 1974, 1980], 先山 [堀田, 1979].
45. *Pseudotorymorrhina japonica* (Hope, 1841) カナブン
普通種.
産地: 洲本市三熊山 [堀田, 1959, 1974], 先山 [堀田, 1976], 三原郡論鶴羽山 [久松, 1974], 沼島 [楠井, 1992].
46. *Rhomborrhina unicolor* Motschulsky, 1861 アオカナブン
最近個体数減少しているように思われる.
産地: 洲本市安乎町 [堀田, 1959, 1974], 先山 [久松, 1974], 三原郡論鶴羽

山〔久松, 1974〕.

47. *Anthracophora rusticala* Burmeister, 1842 アカマダラハナムグリ
個体数少ない.
産地: 津名郡一宮町江井〔堀田, 1980〕. 洲本市物部〔堀田, 1977〕. 三熊山〔登日, 1977〕.
48. *Glycyphana fulvistemma* Motschulsky, 1860 クロハナムグリ
産地: 津名郡轟木 (1ex., 20-VI-1979). 三原郡慶野松原 (1ex., 26-V-1983), 南淡町灘〔藤富, 1995〕, 洲本市安乎町北谷〔堀田, 1996〕.
49. *Eucetonia pilifera* (Motschulsky, 1860) ハナムグリ
普通種であるが記録は少ない.
産地: 洲本市先山〔堀田, 1959〕. 三原郡沼島〔楠井, 1992〕.
50. *Eucetonia roelofsi* Harold, 1880 アオハナムグリ
普通種.
産地: 洲本市先山〔久松, 1974. 堀田, 1976〕. 安乎町〔堀田, 1979〕. 三原郡論鶴羽山〔堀田, 1974〕.
51. *Protaetia brevitarsis* (Lewis, 1879) シラホシハナムグリ
一般的にはシロテンハナムグリより個体数が少ない種である.
産地: 津名郡東浦町浦の池畔〔田中, 1982〕, 洲本市先山〔堀田, 1976〕.
52. *Protaetia lenzi* (Harold, 1876) レンツアオハナムグリ
淡路での産は少ないようである. 本土でも産地は局地的である.
産地: 淡路〔今西, 1938〕. 三原郡沼島〔楠井, 1992〕.
53. *Protaetia orientalis submarmorea* (Burmeister, 1842) シロテンハナムグリ
普通種であるがいがいと記録は少ない.
産地: 洲本市先山〔堀田, 1976〕. 三原郡三原町八木養宜〔藤富, 1995〕.
54. *Gametis forticula* (Janson, 1881) アオヒメハナムグリ
珍しい種である. 兵庫県からは福良と赤穂市鷗和での産しか知られていない. 調査次第でもっと産地は見つかると考えられる.
産地: 三原郡福良〔1ex., IX-1972, 久松, 1973〕.
55. *Gametis jucunda* (Faldermann, 1835) コアオハナムグリ
普通種.
産地: 津名郡津名町大町〔堀田, 1974〕, 岩屋 (1ex., 24-V-1942). 洲本市先山〔久松 1974, 堀田, 1974, 1976, 和田, 1985〕, 安乎町〔堀田, 1979〕. 三原郡南淡町大日ダム〔堀田, 1974〕, 三原町八木養宜〔藤富, 1995〕, 沼島〔楠井, 1992〕.
56. *Nipponovalgus angusticollis* (Waterhouse, 1875) ヒラタハナムグリ
普通種.
産地: 津名郡津名町大町〔堀田, 1979〕, 洲本市安乎町〔堀田, 1959, 1974〕, 三原郡沼島〔楠井, 1992〕.

以上淡路島に産するコガネムシとしてクワガタムシ科 8 種 (17), センチコガネ科 1 種 (3), コガネムシ科 56 種 (151) を記録した (括弧内の数字は兵庫県産としての記録種数).
まだ調査が充分おこなわれていない地域もあるだろうし糞虫類などは状況が変わっているとは云ってももう少し詳しくしらべたら産出種数が増えるだろうと考えられる.

訂正

PAR.NASSIUS No.43 に発表して頂きました“兵庫県のサシガメ・マキバサシガメ (2)”

の中二次の誤り並びに脱落がありましたので此処に訂正並びに補足しておきます。

P.6. Family Nayidae マキバサシガメ科 → Family Nabidae マキバサシガメ科

P.10. 中国 類昆虫 定手冊 → 中国 蜻類昆虫 鑑定手冊

(たかはし としお)

ヒメアカタテハの越冬について

堀田 久²

ヒメアカタテハは、決まった越冬態を持たない種として知られている。これまでの調査では、関東地方や長野県では成虫は冬期に死滅し、関東平野の南部では若令幼虫で、最寒期もゆっくり成長しながら過ごすことが確かめられている。一方西南日本の暖地では、あらゆる発育段階での越冬が可能で、冬眠はしないといわれている。

淡路島ではこれまでのところ、本種の越冬についての報告はなく、兵庫県下でも詳しい調査はされていないようである。筆者は本年（1996年）の1月初めから4月初めにかけて、洲本市安乎町北谷の自宅付近で、本種の成虫の活動状況を観察したので報告しておきたい。

1996年

- | | |
|-------|--------------------------|
| 1月3日 | キクの花で吸蜜中の5個体を確認する。 |
| 1月7日 | キクの花で吸蜜中の1個体を確認する。 |
| 1月12日 | キクの花で吸蜜中の2個体を確認する。 |
| 1月20日 | キクの花で吸蜜中の3個体を確認する。 |
| 1月27日 | キクの花で吸蜜中の1個体を確認する。 |
| 2月14日 | 枯れ草に止まった1個体を確認する。 |
| 2月15日 | オオイヌノフグリの花で吸蜜中の1個体を確認する。 |
| 2月23日 | 枯れ草に止まった1個体を確認する。 |
| 3月8日 | 地面に止まった1個体を確認する。 |
| 3月22日 | オオイヌノフグリの花で吸蜜中の1個体を発見する。 |
| 4月3日 | 畑の土の上に止まった1個体を確認する。 |

上記の観察記録から、洲本市安乎町において、ヒメアカタテハが成虫で冬を越し、最寒期も冬眠することなく、吸蜜活動を続けていることが確認できた。ただし、今年の冬は比較的暖かく、1月3日にはベニシジミの成虫を目撃し、2月15日にはヤマトシジミの新鮮な雄を目撃している。冬の寒さが厳しい年でも、本種の成虫が越冬できるかどうかは今後の課題である。

(ほりた ひさし)